

企業が知的財産を経営戦略に活用するレベル(5段階評価) ーある業界の例ー

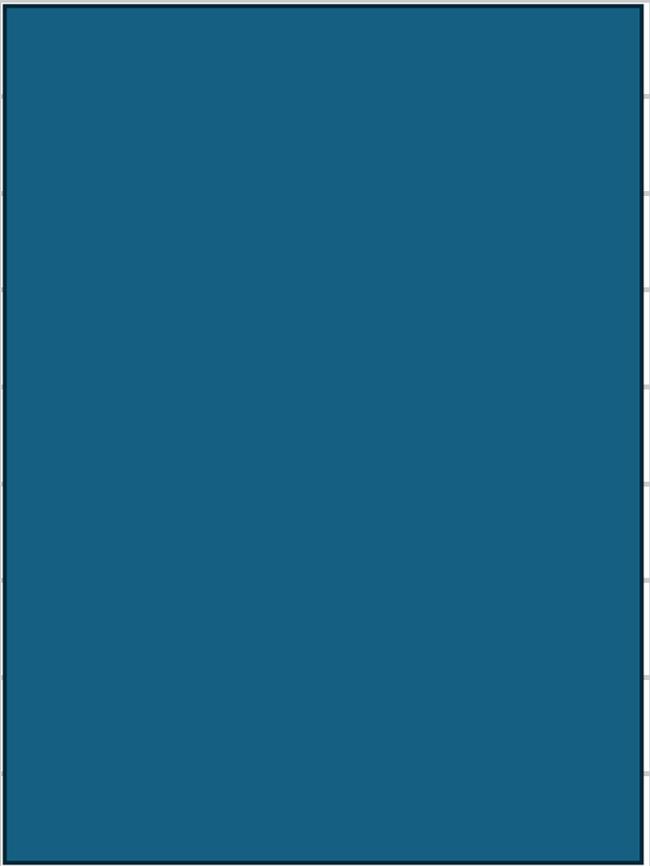
下記の知的財産活用の5段階レベルは、企業が知的財産を経営戦略に活用するレベルを表しています。

1. ディフェンス知的財産を用いて事業を守る段階
2. コスト・コントロール知的財産の管理費用を削減する段階
3. プロフィットセンター知的財産から収益を上げる段階
4. インテグレーション知的財産と事業戦略を統合し、企業を変革する段階
5. ビジョン知的財産を用いて未来を創造する段階

アップアップされた企業の統合報告書等の資料を基に、その企業の知的財産活用のレベルを評価してください。評価した理由も説明してください。

(NotegookLMによる評価)

企業が知的財産を経営戦略に活用するレベル(5段階評価) ある業界の例

| 会社名 | 評価結果 |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|  | レベル4「インテグレーション」とレベル5「ビジョン」の間 |
| | レベル4「インテグレーション」とレベル5「ビジョン」の間 |
| | レベル4「インテグレーション」 |
| | レベル4「インテグレーション」 |
| | レベル3「プロフィットセンター」とレベル4「インテグレーション」の間 |
| | レベル3「プロフィットセンター」とレベル4「インテグレーション」の間 |
| | レベル3「プロフィットセンター」とレベル4「インテグレーション」の間 |
| | レベル2「コスト・コントロール」とレベル3「プロフィットセンター」の間 |
| | 知的財産活用に関する具体的な記述は見当たりません。したがって、評価することはできません。 |